

滋賀県文化情報

『えんむすび』

●「みんなで音楽会へ出かけよう！」
を開催します！

滋賀県ではびわ湖ホールと連携して、県内の子どもたちがびわ湖ホールで大編成のオーケストラの演奏を聴く「ホールの子事業」（毎年6月頃実施）や、びわ湖ホール音楽アンサンブルが小学校の体育館で開催する「学校巡回公演」（毎年5月頃実施）などを通じて、音楽公演に触れる機会を設けてきました。が、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、音楽公演を提供する機会が失われています。

このたび、失われてしまった音楽の鑑賞機会を創出するため、感染症対策を実施しながら、音楽会を開催しています。

お子様から大人の方まで、みなさまにお楽しみいた



学校巡回公演（2019年5月）

だけのプログラムをご用意しましたので、たくさんの方のお越しを心よりお待ちしております。なお、びわ湖ホールでの公演はYouTubeによるリアルタイム配信およびアーカイブ配信を無料で行います。

【日時・場所】

2021年2月21日（日）14:00開演の1部
於：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（応募締切：1/11）
2021年3月13日（土）11:00開演、14:00開演の2部
於：滋賀県立文化産業交流会館（応募締切：1/31）

【応募方法】

往復はがきで各ホールにお申し込みください。
詳しくは、滋賀県HPに添付のチラシをご覧ください。
（URL：https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunaka_sports/bunkageizyutsu/315050.html）

【プログラム】

『パプリカ』『となりのトトロ』『滋賀県民の歌』など

【お問い合わせ】

びわ湖ホール：077-523-7136
文化産業交流会館：0749-52-5111

●「文化芸術公演支援事業」補助金の創設、申請の受付を開始しました！

コロナ禍における文化芸術公演を支援するため、感染防止対策を実施し、県内文化施設で文化芸術公演を行った利用者に施設使用料の

1/2を支援します。

○申請受付期間

令和2年11月13日（金）

（令和3年3月3日（水））

※令和3年3月中に実施する公演については、事前に申請いただくこととなります。

※予算の上限に達した時点で、受付を終了します。

○対象者

「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン改定版」に則った感染拡大防止対策を実施し、公演を行う者

○対象公演（以下のすべてに該当するもの）

- ・舞台を使用して実施する文化芸術公演および当該公演に伴う練習
- ・劇場音楽堂等における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン改定版に則った感染拡大防止対策を実施する公演
- ・令和2年10月10日（土）から令和3年3月28日（日）に実施する公演

○お問い合わせ先

「文化芸術公演支援事業」事務局

（公益財団法人びわ湖芸術文化財団内）

TEL：077-523-7133

E-mail：e-support@biwako-arts.or.jp

詳細は県および事務局HPをご覧ください。

Made in Shiga - 身近に感じる「美」の世界

職人技、八幡瓦の美と不思議

近江の祭り研究所 代表 辻村耕司

滋賀県の「美の滋賀」プロジェクト推進事業に採択された「近江の祭り研究所」と申します。近江、琵琶湖とその周辺に人々が暮らし形づくってきた歴史と文化を「祭り」という糸口から深く理解しようとしてきました。2015年には滋賀県の「地域の元氣創造・暮らしアート事業」に採択され、『祭りを彩るデザイン vol.1 守山市』を開催。無形民俗文化財「近江のケンケト祭り長刀振り」に指定

県内で実施されている「美の滋賀」づくりに関する取り組みを紹介します。

された小津神社・下新川神社及び馬路石邊神社の豊年踊りの衣装・飾り・祭礼具に焦点を当て写真・映像・実物を守山市の「うの家」で展示、またA4サイズ32ページの図録を作成、祭礼の保存会へ各100部寄贈し、県内の図書館にも蔵書いただきました。

今年度は滋賀県の祭礼を支える集落の人々と文化的景観に注目し、その中で目につく「不思議な瓦」たちにスポットを当てた展示を近江八幡市立「かわらミュージアム」で行います。

日本の瓦は6世紀に百済から瓦博士が来



BWAKOJINナール、八幡山展望館での瓦の展示



寺院山門の鬼瓦



成安造形大学名誉教授 木村至宏氏が生まれた守山市東光寺本堂の鬼瓦

て作られ始め8世紀には数百の瓦葺き寺院が建てられたといえます。当時の古代瓦や戦国期の城を葺いた瓦の研究はされていますが、江戸から明治・大正・昭和・平成と作られた飾り瓦の研究はあまりされてないようです。江戸期から始まった近江八幡市の八幡瓦は様々な意匠を凝らし独自に展開しました。寺院の本堂の鬼瓦が天女だったり、神社の拝殿の瓦が波兔や竜だったり。軒瓦や塀や門に火伏せの波や魚の文様の飾り瓦。朝鮮通信使を象った瓦人形もあります。何が求められ、当時の職人達がそれに応えたか、きつと腕の見せどころだったのではないのでしょうか。

そのような「瓦の美」を発見し、体系づけようという試みが今回の「近江の瓦にみる美を訪ねて」という展示です。寺院・神社の鬼瓦、民家の飾り瓦等を写真で記録し、「かわらミュージアム」で收藏されている瓦と共に一堂に展示します。また図録を作成し今回の展示とその調査結果を出版します。ご来場いただければ幸いです。

・開催期間

2021年2月2日(火)～2月28日(日)

・開催場所 近江八幡市立かわらミュージアム

近江八幡市多賀町738-12

TEL0748-333-8567

アートのみかた

— 滋賀県立近代美術館所蔵作品をもとに —



野口謙蔵「冬田と子供」 昭和14(1939)年 油彩・画布 縦130.0×横193.4(cm) 滋賀県立近代美術館蔵

●郷愁を誘う、ふるさとの冬景色

はるか地平線まで、夕日で真っ赤に染まった冬の田園風景。仕事を終えた農民たちが帰途につき、カラスもねぐらを目指す頃、収穫を終えた田んぼで兵隊さんごっこを遊んでいた子どもたちも、そろそろ家に帰ろうかと思案中のようです。立ち上る稲わら焼きの煙、畦に植えられたダイコン、さりげなく描かれたものがみな強い郷愁を誘う、今も昔も変わらないふるさとの風景です。

野口謙蔵(1901～1944)は蒲生郡桜川村

滋賀県立近代美術館 専門学芸員 平田 健生

綺田(現在は東近江市綺田町)出身で、滋賀県を代表する洋画家です。東京美術学校卒業後、生まれ故郷の蒲生野にこもり、蒲生野の美しい自然や素朴な人々の暮らしを、生涯愛情を込めて描き続けました。その作風は原色の強烈な色づかいと、息づくような生命感を持つ曲線主体の描線が特徴的で、日本画の文人画に通じる要素も多いことから「油絵で描いた日本画」とも評され、地元を中心に全国に熱狂的なファンを持っています。

オペラ日和

●びわ湖ホールプロデュースオペラ ワーグナー《ローエングリン》を愉しむ

びわ湖ホール 総括プロデューサー 舘脇 昭

新型コロナウイルスの影響はいまだに衰える気配がありませんが、びわ湖ホールでは昨年3月、ワーグナー作曲《神々の黄昏》（ニーベルングの指環全4部作の最終作）を無観客で上演、全世界に向けて無料ライブ配信を行い、30の国で41万人を超える方にご覧いただきました。上演自体の中止が迫られる中厳しい選択でしたが、このことを評価していただき、第68回菊池寛賞をびわ湖ホールにいただきました。大変名誉なことであり、今回の受賞を励みに新型コロナウイルスに負けない素晴らしい作品を上演し続けて参ります。

さて、2021年3月は、ワーグナーのオペラ《ローエングリン》をセミステージ形式で上演します。ワーグナーの13作品中6番目のオペラで、魔女等によって陥れられたお姫様エルザの窮地を白鳥が引く小舟に乗った騎士が現れ見事救います。騎士は「自身の素性を決して尋ねないこと」という誓いをエルザにさせますが、魔女に疑念を植え付けられたエルザは誓いを破り騎士に素性を聞いてしまいます。自分は聖杯を守る騎士ローエングリンだと素性を明かし、魔法で白鳥にされていたエルザの弟を人間にの姿に戻して去ってしまいましたという、どこ

びわ湖ホールプロデュースオペラ「神々の黄昏」
公演(2020年3月)



か「鶴の恩返し」的な印象も受ける、中世の伝説に基づいて書かれた作品です。ワーグナーはこのお話に、名曲の宝庫とされる魅力の詰まった大規模な管弦楽による音楽を付けました。第1幕への前奏曲、第3幕への前奏曲、婚礼の合唱といった曲は特に有名で、単独で演奏される機会も多い曲です。休憩を含めると4時間に及ぶ大作ですが、ワーグナーのおとぎ話の世界にどっぷり浸かってみませんか。

びわ湖ホールプロデュースオペラ ワーグナー作曲 オペラ 《ローエングリン》

全3幕 (ドイツ語上演・日本語字幕付)

日時 2021年3月6日(土)・7日(日)
両日14:00 開演

会場 びわ湖ホール大ホール

指揮 沼尻竜典

演出 栗國 淳

出演 福井 敬、チャールズ・キム ほか

合唱 びわ湖ホール声楽アンサンブル

管弦楽 京都市交響楽団

チケット 20,000円～2,000円(税込)

2021年1月16日(土)発売

●豆知識

セミステージ形式とは

オペラには大きく分けて二つの上演形式があります。一つは通常のオペラ上演です。オーケストラはピットに入り、舞台上には大道具などで飾り付けをし、照明でシーン毎に雰囲気を作り、出演者は役と設定に合わせた衣装をつけ小道具等を使用して演技を伴い上演する形です。出演者も舞台スタッフも段取りが多いことから、数カ月に及ぶ稽古を重ねて本番に臨みますので規模が大きくなります。もう一つは演奏会形式と呼ばれるものです。みなさんはベートーヴェンの交響曲第9番の演奏をご覧になったことはあるでしょうか。オーケストラ、独唱者、合唱団等は全てステージに乗り、特に演出効果を加えることなく演奏のみを楽しむ形のものを言います。今回「ローエングリン」のセミステージ形式は、この演奏会形式を基本に、舞台美術や映像照明等、演出効果を加えた形での上演となります。